

第16期 定時株主総会 招集ご通知



日時 2018年6月22日（金）午前10時
(受付開始 午前9時)



場所 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
東京国際フォーラム（ホールA）



議案

- 指名委員会から
ご提案させていただく議案
会社提案 第1号議案（取締役14名選任の件）
- 一部の株主さまから
ご提案された議案
株主提案 第2号議案～第6号議案



郵送またはインターネットによる議決権行使の期限

2018年6月21日（木）午後5時まで

▶ 詳細は112～114頁をご参照ください。



株主の皆さまへ
お伝えしたいこと

先進的なガバナンス体制の

業績を踏まえた
安定的な配当

Point **1** p6

親会社株主純利益
は計画を達成

決算ハイライト・中期経営計画
(財務目標) の達成状況

Point **2** p8

連結配当性向
30%程度を
一つの目処として
安定的な配当

2017年度期末配当金について・
資本政策の基本方針

MIZUHO

業績を
支える戦略

Point **3** p10

総合金融
コンサルティング
グループの実現に
向けて

〈みずほ〉の事業戦略：
進化するOne MIZUHO



業績と戦略の

Point **4** p12

株主の皆さまへ
責任を果たし
うる体制

コーポレート・
ガバナンス体制



目次

■ ご挨拶 P4

■ 株主の皆さまへお伝えしたいこと P6

■ 第16期 定時株主総会招集ご通知 P22

■ 株主総会参考書類 P24

会社提案 (第1号議案) P24

株主提案 (第2号議案～第6号議案) P42

■ 第16期事業報告 P50

1. 当社の現況 P50 / 2. 会社役員 P71
3. 社外役員 P82 / 4. 当社の株式 P84
5. 当社の新株予約権等 P86 / 6. 会計監査人 P87
7. 業務の適正を確保するための体制 P89
8. 特定完全子会社 P97
9. その他 (剰余金の配当等の決定に関する方針) P97

■ 連結計算書類等 P98

連結計算書類 P98 / 計算書類 P101
監査報告書 P104

■ ご参考 P108

決算の概要 P108

もと、皆さまの信頼にお応えしてまいります

土台となる強固なガバナンス体制

Point **5** p14

社外取締役を
中心に実効性ある
監督機能を発揮

取締役会及び各委員会等の
主な役割と活動状況 (2017年度)

Point **6** p16

報酬体系や水準を、
社外取締役のみで
決定

客観性・透明性を確保した
役員報酬

Point **7** p17

社外取締役を中心とした
透明性の高い役員人事プロセス

客観性・透明性の高い役員人事プロセスを確保

更なる 信頼向上にむけて

Point **8** p20

株主の皆さまの
声に真摯に
向き合います

株主の皆さまとの対話



株主総会における議決権は株主の皆さまが当社の経営に参加できる重要な権利です。
株主総会へご出席いただくほか、郵送またはインターネットにて議決権の行使が可能です。

議決権行使について



郵送
による議決権行使

P.112



インターネット
による議決権行使

P.114



ご出席
による議決権行使

裏表紙

巻末に議決権行使チェックシートもございますので、是非ご活用いただき議決権の行使をお願い申し上げます。

One MIZUHO

未来へ。お客さまとともに

日本、そして、アジアと
世界の発展に貢献し、
お客さまから最も信頼される、
グローバルで開かれた
総合金融グループを目指します。



ご挨拶

本年4月より執行役社長 グループCEOに就任いたしました坂井辰史でございます。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中期経営計画『進化する“One MIZUHO”～総合金融コンサルティンググループを目指して～』

2017年度は、3年間を計画期間とする中期経営計画の2年目として、One MIZUHO戦略を“加速”させる取り組みを進めてまいりました。

まず、銀行・信託・証券等グループ一体運営をさらに進化させるため、顧客本位の業務運営を徹底するとともに、生産性の抜本的向上へ向け、オペレーショナルエクセレンスを推進してまいりました。また、デジタ

ルイノベーションへの取り組みも積極的に進めてまいりました。

2017年度決算 ～概ね計画通りに進捗～

2017年度は、マイナス金利の継続で厳しい事業環境が続くなか、顧客部門でソリューション収益や不動産関連収益が増加したことに加え、与信関係費用の戻入益や政策保有株式の売却促進等により、親会社株主に帰属する当期純利益は5,765億円となり、年度計画5,500億円を達成しました。

また、自己資本につきましては、普通株式等Tier1比率（その他有価証券評価差額金を除く）は10.15%と1年前倒しで中期経営計画の目標水準に到達しました。

こうした業績を踏まえ、2017年度年間配当金は当初予想どおり7円50銭といたしました。

「総合金融コンサルティング
グループ」の実現に向けた
取り組みを着実に
進めてまいります。



2018年度～One MIZUHO戦略 のさらなる進化～

金融機関を取り巻く事業環境は厳しい状況が継続するとともに、大きな構造変化が予想されています。このため、中期経営計画への取り組みのほか、持続的成長と5年後・10年後の競争優位を確保するための取り組みも必要と考えています。

こうした認識を踏まえ、2018年度は、「抜本的構造改革への着手・実行」、「中期経営計画の仕上げ」、「次期システムの完遂」を重要な課題と位置づけ、One MIZUHO戦略のさらなる進化を目指してまいります。具体的には、お客さまの課題解決を通じたグループ一体での収益力強化や、テクノロジー・データを活用した新規ビジネスの創造などの取り組みを進めてまいります。また、地方創生、産業育成といった社会的課題の

解決等を通じ、社会の持続可能な発展へ貢献してまいります。こうした取り組みを、「総合金融コンサルティンググループ」の実現に向け着実に進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社みずほフィナンシャルグループ
執行役社長 グループCEO

坂井 辰史